

北海道利尻島 写真と語りの展示会

島の有 大自然の子どもたち

北の海の道にある 自然豊かなこの島で

大切な時間をすごしている みなさん

みなさんの おじいさん おばあさんも 昔はこどもでした

それぞれの姿を 写真と話から 見てみましょう

2018年 3月20日～3月27日

(初日10:00開始 最終日12:00終了)

第一部

「自然のなかで遊ぶ、学ぶ」では、
秋と冬の 子どもの世界を あらわします

第二部

「記憶（きおく）のなかの宝もの」では、
島のおじいさん おばあさんが
子どもだったころを しょうかいします

わたしたちには 生まれた土地と 生きる時間があります。
こども おとな おとうさん おかあさん 先生 お医者さん。
みんなで いろいろな ちえを だしあって 生きています。

生活のなかみは かわっても そのしくみは
島のおじいさん おばあさんが 子どもだったころから かわりません。
さあ この島で 元気に あそび、まなびましょう。



日時・場所 展示時間（下記以外）利尻町公民館・どんとの開館時間

利尻町公民館

3月20日（火）～3月23日（金）

- 展示時間 3月20日（火）10:00～
3月23日（金）12:00まで
- 交流会 3月21日（水）10:00～11:00
道信・西谷
- 講話 3月20日（火）16:00から 西谷

〒097-0311
北海道利尻郡利尻町仙法志字本町 0163-85-1011

利尻町交流促進施設どんと

3月23日（金）～3月27日（火）

- 展示時間 3月23日（金）16:00～
3月27日（火）12:00まで
- 交流会 3月24日（土）10:00～11:00
道信・奈良
- 講話 3月23日（金）16:00から 奈良

〒097-0401
北海道利尻郡利尻町沓形地内 0163-84-2446

学校関係者、保護者、地域のみなさまへ

本展示会は、子どもの健康とウェルビーイングを、利尻島の自然、文化、歴史とのかかわりで探究してきた成果を、写真と語りで表象するものです。ウェルビーイングとは、からだやこころはもちろん、社会生活も満たされた状態にあることをいいます。本研究は2011年から始まり、今年で7年目を迎えました。

利尻島で、「子ども」という限りある時間を生き生きとすごしている子どもたちのすがたをご覧ください。また、東京在住の写真家 長野重一氏が1956年4月に撮影した利尻の子どもたちのすがたも展示します。そして、1940年代に島で生まれ育った方々の記憶をたどった思い出話やその当時の写真も展示します。

この展示会では、人類学、歴史学、写真制作の視点から、人間の生命の育みに必要なものは何かということを考えます。本活動を通じて、人間の健康やウェルビーイングは、人間もその一部である生活風景のなかで育まれていることを明らかにし、自然と共生する人間の暮らしの発展に寄与するとともに、地域医療(離島医療)や医学教育にも研究成果を広く還元します。

ぜひ、みなさまのご意見やご感想をお寄せください。

代表

道信 良子(みちのぶ・りょうこ) 研究・展示会の総括

札幌医科大学・准教授 子どもの健康とウェルビーイングをテーマに北海道札幌市と利尻島で医療人類学のフィールドワークを行う。著書に『いのちはどう生まれ、育つのか—医療、福祉、文化と子ども』(岩波ジュニア新書) 岩波書店 2015年他 ホームページ: <http://michinor.com/>

メンバー

西谷 榮治(にしや・えいじ) 聞き取り・写真撮影・制作

利尻町教育委員会・利尻町立博物館学芸員として勤務し、2015年定年退職。利尻麒麟獅子などの利尻島歴史遺産を島の文化創造のいとなみとして取り組んでいる。著書に、『利尻の語り—先人たちの聞き語りで綴るもう一つの島の歴史』(自費出版) 2010年、HTB豆本「利尻島」、北海道新聞夕刊、道北版のコラム「北極星」など多数。

奈良美弥子(なら・みやこ) 写真撮影・制作

札幌医科大学・写真作家 北海道の大地をテーマに、土の力と癒し、自然と人間とのかかわりを表現する。『大地のうたがきこえる』東京印書館 2016年

加賀谷真梨(かがや・まり) 展示アドバイザー

新潟大学人文学部・准教授 民俗学と文化人類学の領域で研究活動を行う。調査地は沖縄の八重山諸島。過疎化や少子高齢化、離島固有の文化体系の維持に関する島ごとの多様な実践に着目している。著書に「子どもも親もみんな育てる」『いのちはどう生まれ、育つのか—医療、福祉、文化と子ども』(岩波ジュニア新書) 岩波書店 2015年他



撮影協力 利尻町立仙法志小学校 利尻町立沓形小学校

聞き取り協力 沓形、仙法志地区のみなさま

展示会協力 利尻町教育委員会 カメラの川田(札幌市)

助成金 札幌医科大学学術振興助成 文部科学省科学研究費助成(JP 2360101, JP 26350932)